

2022年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ 東洋史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

成	
績	

2022年度
大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験
(春期・一般選抜) 問題

専門科目Ⅰ (東洋史 専攻分野)

I

以下の中国古典文 (A) (B) につき、(1) 貸与された赤鉛筆を用いて句読 (、。) を切り、(2) 現代日本語または現代中国語に訳せ (赤鉛筆は句読を切るときのみ使用)。

(A)

嗚呼五代之民其何以堪之哉上輸兵賦之急
下困剝斂之苛自莊宗以來方鎮進獻之事稍
作至於晉而不可勝紀矣其添都助國之物動
以千數計至於來朝奉使買宴贖罪莫不出於
進獻而功臣大將不幸而死則其子孫率以家
貲求刺史其物多者得大州善地蓋自天子皆
以賄賂為事矣則為其民者其何以堪之哉於
此之時循廉之吏如延魯之徒者誠難得而可
貴也哉

(『新五代史』雜傳・郭延魯傳より)

受験記号番号

$$\frac{2}{5}$$

(B)

大明寶鈔命民間通行以桑穰爲料其制方高一尺廣六寸質青色外爲橫文花欄橫題其額曰大明通行寶鈔其內上兩旁復爲篆文八字曰大明寶鈔天下通行中圖錢貫十串爲一貫其下云中書省奏準印造大明寶鈔與銅錢通行使用僞造者斬告捕者賞銀二十五兩仍給犯人財產若五百文則畫錢文爲五串餘如其制而遞減之其等凡六曰一貫曰五百文四百文三百文二百文一百文每鈔一貫準錢千文銀一兩四貫準黃金一兩禁民間不得以金銀物貨交易違者罪之以金銀易鈔者聽遂罷寶源寶泉局越二年復設寶泉局

明史卷八十二 志 二

鑄小錢與鈔兼行百文以下止用錢商稅兼收錢鈔錢三鈔七十三年以鈔用久昏爛立倒鈔法令所在置行用庫許軍民商賈以昏鈔納庫易新鈔量收工墨直會中書省廢乃以造鈔屬戶部鑄錢屬工部而改寶鈔文中書省爲戶部與舊鈔兼行十五年置戶部寶鈔廣源庫廣惠庫入則廣源掌之出則廣惠掌之在外衛所軍士月鹽皆給鈔各鹽場給工本鈔

(『明史』食貨志より)

受験記号番号

$$\frac{4}{5}$$

II

(1) ～ (5) につき、知る所を簡潔に述べよ。(日

本語で述べよ。)

(1) 黄老思想

(2) 『顔氏家訓』

(3) 牛李の党争

(4) 地丁銀

(5) 諮議局